

Ⅱ-1. 【子ども学科・人間介護福祉学科：卒業生向け】キャリアに関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) アンケート調査の目的

本学、子ども学科、人間介護福祉学科を卒業した学生の現状を把握するとともに、キャリア支援のあり方等を把握する。

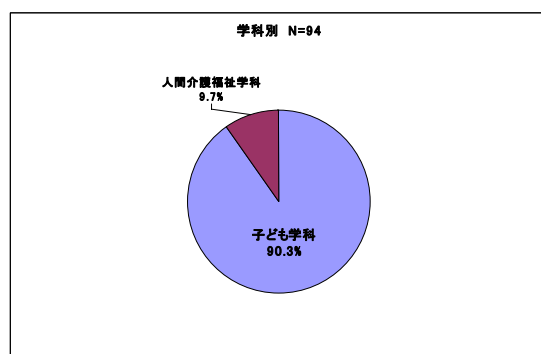
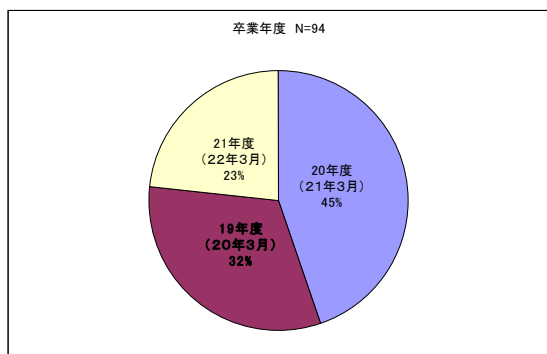
さらに、本学卒業後、勤務等をしてから大学生活を振り返る意見を収集することで、今後の学生指導の参考とする。

(2) アンケート調査の期間

平成22年8月27日（金）～平成22年9月24日（金）

(3) 調査対象

本学、子ども学科・人間介護福祉学科を平成20年3月以降に卒業した卒業生



(4) 配布方法

メール便にてアンケート票を発送し、郵便にて回収

有効発送先数 子ども学科 439 人 人間介護福祉学科 49 人 計 488 人

有効回答先数 子ども学科 84 人 人間介護福祉学科 9 人 不明 1 人 計 94 人

回答率 子ども学科 19.1% (24.0%) 人間介護福祉学科 18.4% (31.3%)

計 24.5% (24.5%)

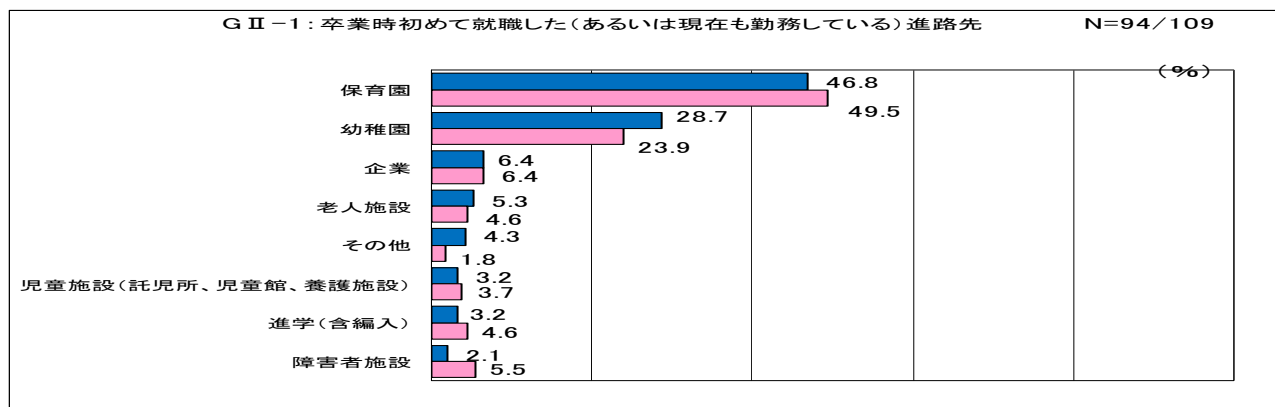
※文面の（数値％）は、すべて平成21年度の調査結果を表している。

※次ページ以降の図における棒グラフ色については、**ブルーは平成22年度**、**ピンクは平成21年度**の調査結果を表し、図タイトル内の（N=○/□）について○数字は平成22年度、□数字は平成21年度の調査数を表している。

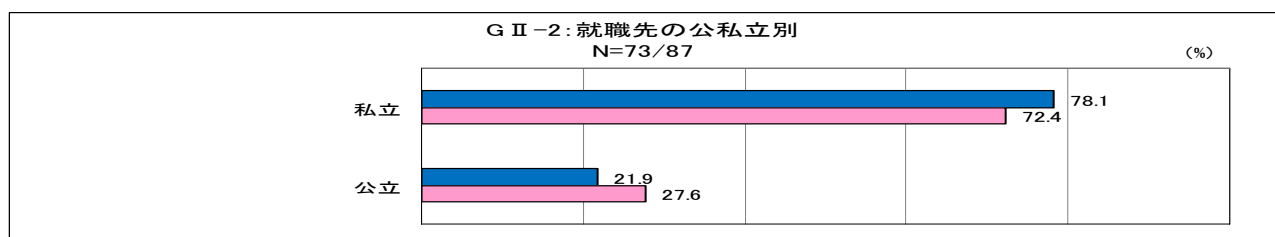
2. 調査結果

(1) 卒業時、初めて就職した（あるいは現在も勤務している）進路先及び雇用状態について

本学を卒業後の進路先は、「保育園」46.8% (49.5%)、「幼稚園」28.7% (23.9%)、「企業」6.4% (6.4%)、「障害者施設」2.1% (5.5%)、「老人施設」5.3% (4.6%)、「進学」3.2% (4.6%)、「児童施設」3.2% (3.7%) などとなっている（参照：GII-1）。

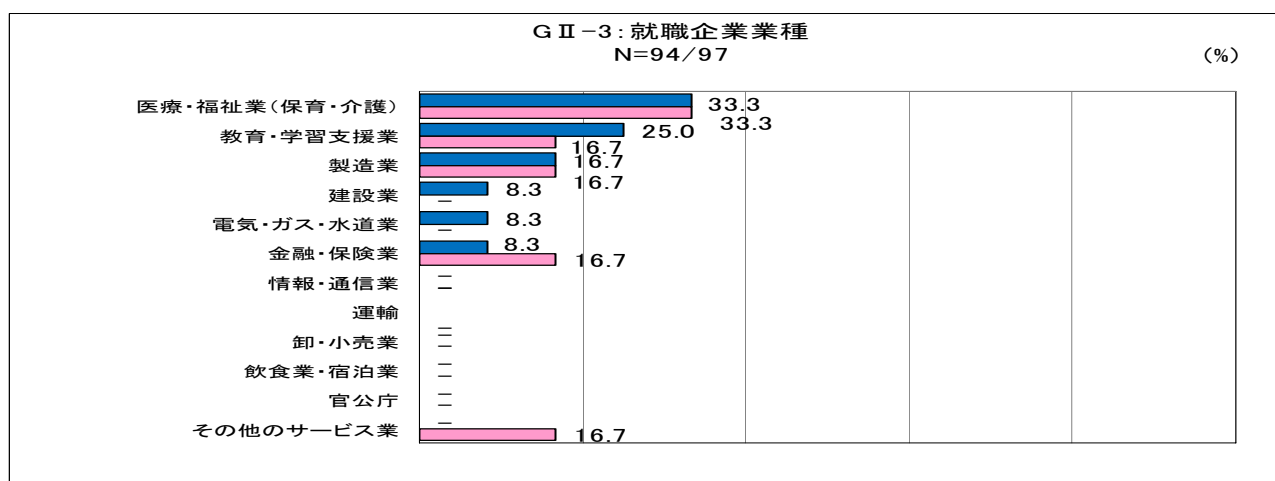


また、「私立園」78.1% (72.4%)、「公立園」21.9% (27.6%) となっている（参照：GII-2）。

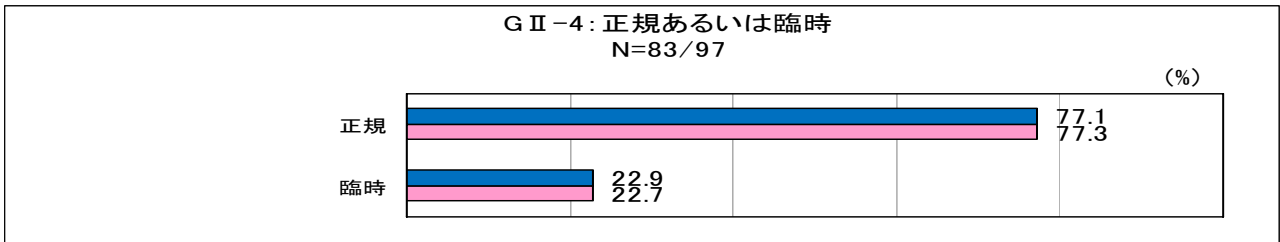


●進路先が企業の場合

進路先が企業である学生が就職している業種は、「医療・福祉業」が33.3% (33.3%) と高く、次いで「教育・学習支援業」25.0% (16.7%)、「製造業」16.7% (16.7%) となっている（参照：GII-3）。

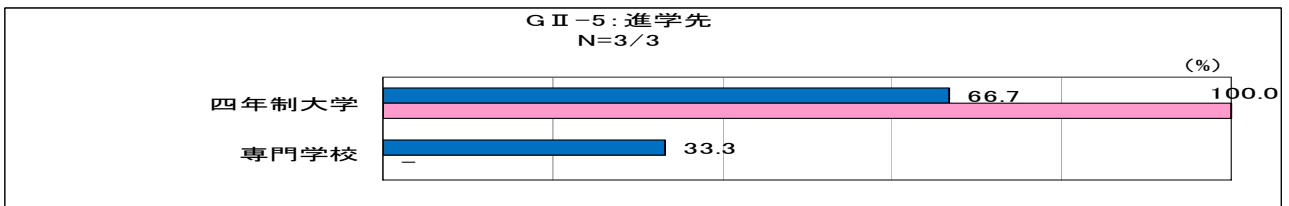


雇用形態の現状は、正規職員が77.1% (77.3%)、臨時職員が22.9% (22.7%) となっている (参照GII-4)。



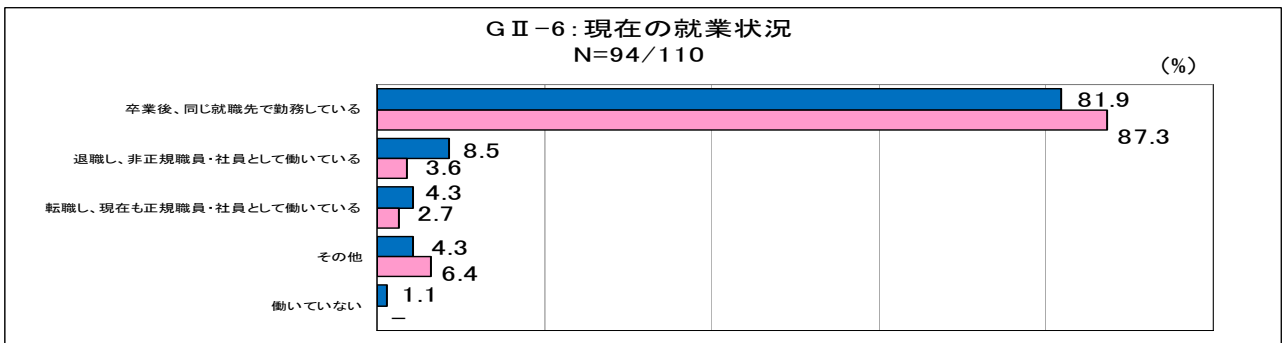
●進路先が進学の場合

進学の場合は、四年制大学への編入は66.7% (100%)、専門学校33.3% (0%) となっている (参照:GII-5)。

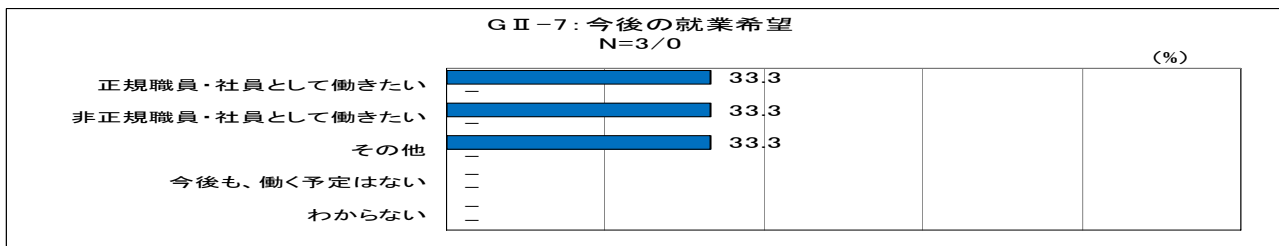


(2)現在の就業状況について

現在、「卒業後、同じ就職先で勤務している」学生は、81.9% (87.3%) で、本学卒業生の3年後における定着率である。さらに、一度、離職した後、働いている割合は、正規職員・社員として働いているが4.3% (2.7%)、非正規職員・社員として働いているが8.5% (3.6%) で、非正規職員・社員の割合が昨年度より高くなっている。(参照:GII-6)。

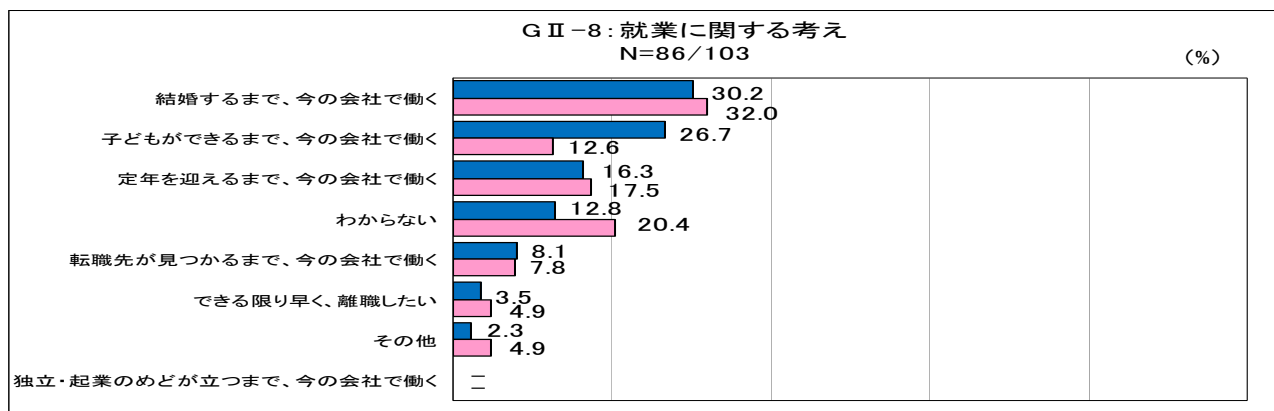


離職者における今後の就業希望は、正規職員、非職員、その他のすべてが33.3%で、正規・非正規に関わらず働きたいと思っている。(参照:GII-7)



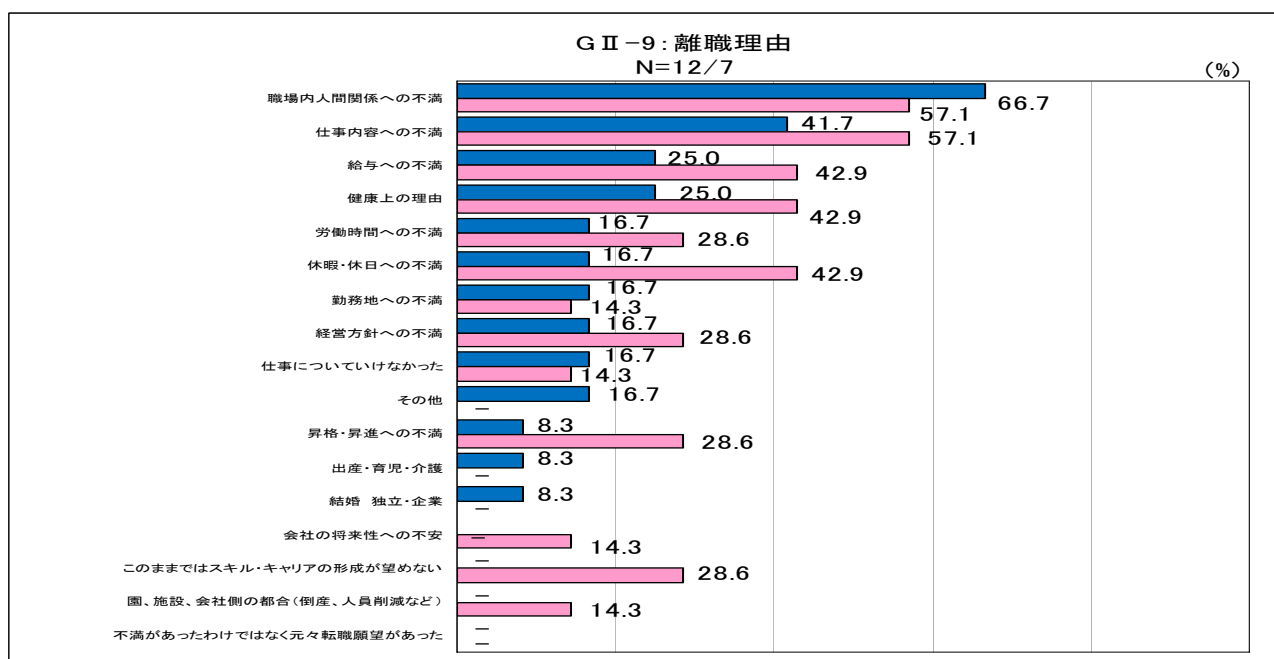
(3) 就業に関する考え方について

「結婚するまで、今の会社（園）で働く」が30.2%（32.0%）と最も高く、結婚が転職退職のポイントになっていることが伺える。また、「子どもができるまで、今の会社（園）で働く」が26.7%（12.6%）と結婚と同様、出産も、転職退職のポイントになっている。「定年を迎えるまで今の会社（園）で働く」は16.3%（17.5%）に止まっている（参照：GII-8）。



卒業後3年以内に離職した理由は、「職場内人間関係への不満」66.7%（57.1%）で最も高く、次いで、「仕事内容への不満」41.7%（57.1%）、「給与への不満」と「健康上の理由」が25.0%と続いている。

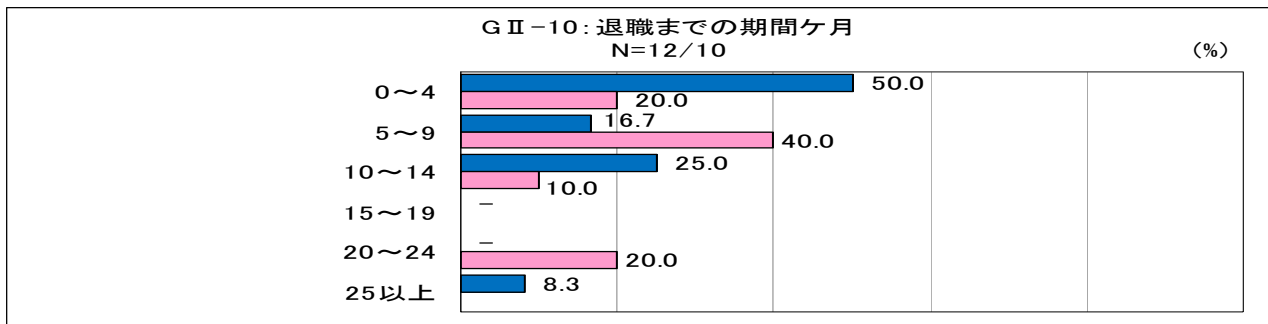
昨年度は、職場内の人間関係、仕事内容への不満が57.1%と高く、次いで、休暇・休日、勤務地、仕事内容への不満と健康上の理由が42.9%となっていた。「(2)現在の就業状況について」で示したように、3年以内の離職率は低いものの、3年以内で離職する場合はネガティブな要因による影響が強い。また、離職までの期間が1年未満の者が多く、今後の就職支援について再考していく必要性が伺える（参照GII-9）。



*その他の離職理由

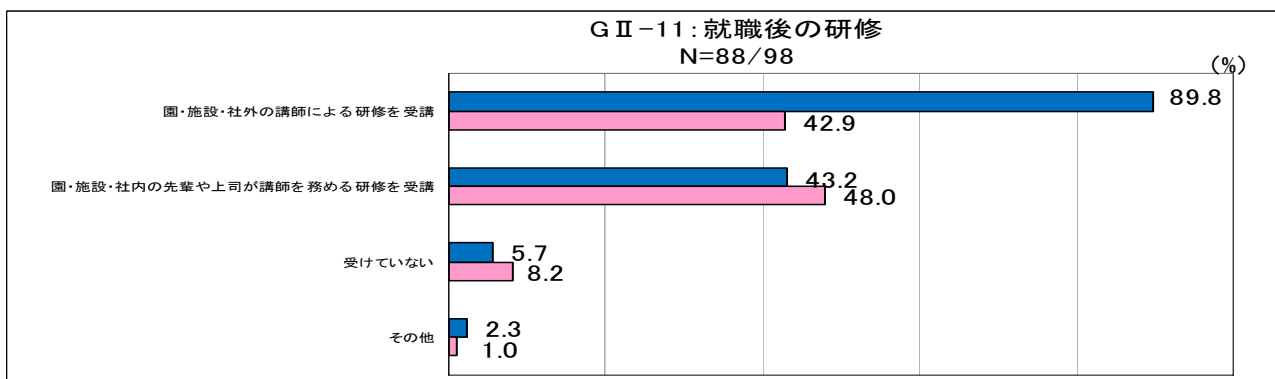
嘱託保育士1年働き、公務員合格の為、他園へ転勤になった。1度嘱託を退職という扱いになる。

* 離職までの期間 (参照 : G II-10)



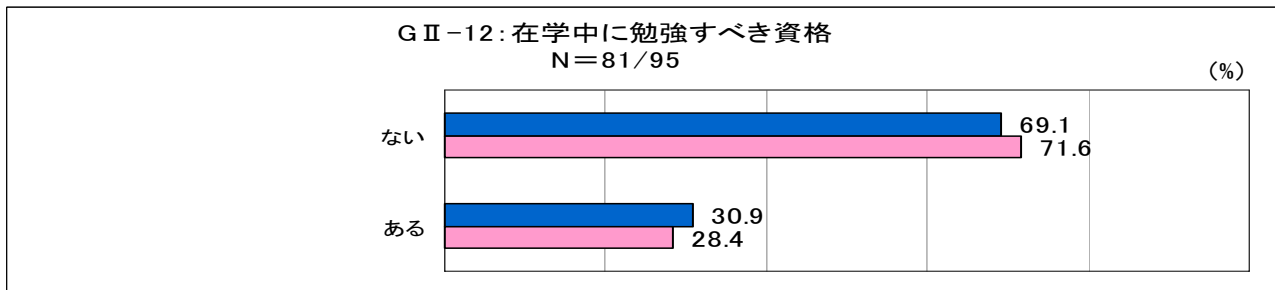
(4) 就職後の研修について

昨年度は、「園・施設・社内の先輩や上司が講師を務める研修を受講」するが43.2% (48.0%) と最も多かったが、本年度は、「園・施設・社外の講師による研修を受講」するが89.8% (42.9%) で受講機会が多くなったことがわかる。この結果から、今年度は、昨年度より研修の機会が外部で研修を受ける機会を与えられている。(参照 : G II-11)。



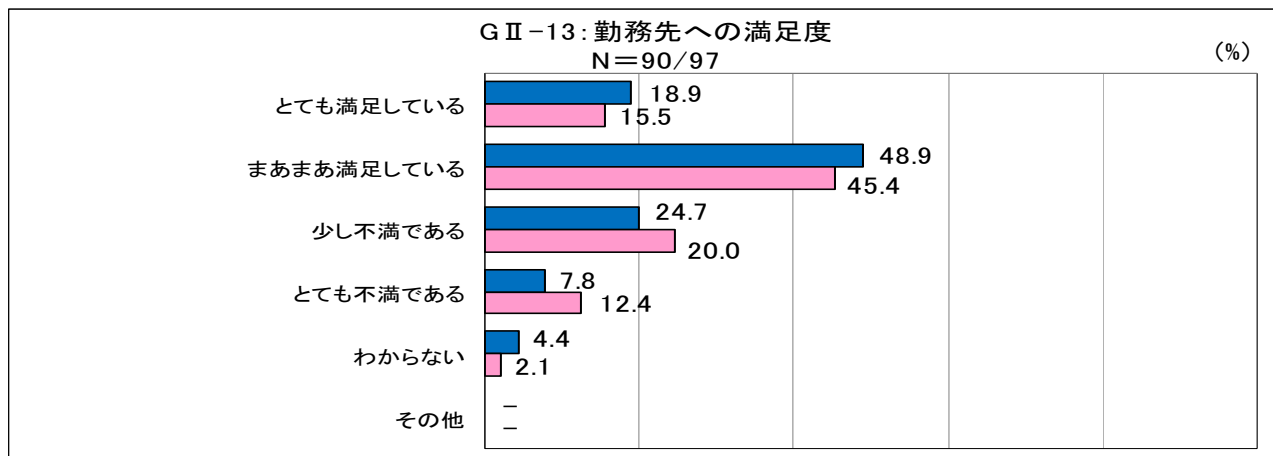
(5) 在学中に取得しておくべき資格・検定について

卒業までに、幼稚園教諭、保育士、介護福祉士の資格を取得して勤務していることもあり、在学中に他に資格・検定を取得する必要性を有していないが69.1% (71.6%) と昨年度同様に高いが、在学中に資格・検定の必要性がある取得も勤務に関係した資格が多いことがわかる (参照 : G II-12)。



(6) 勤務先の満足度について

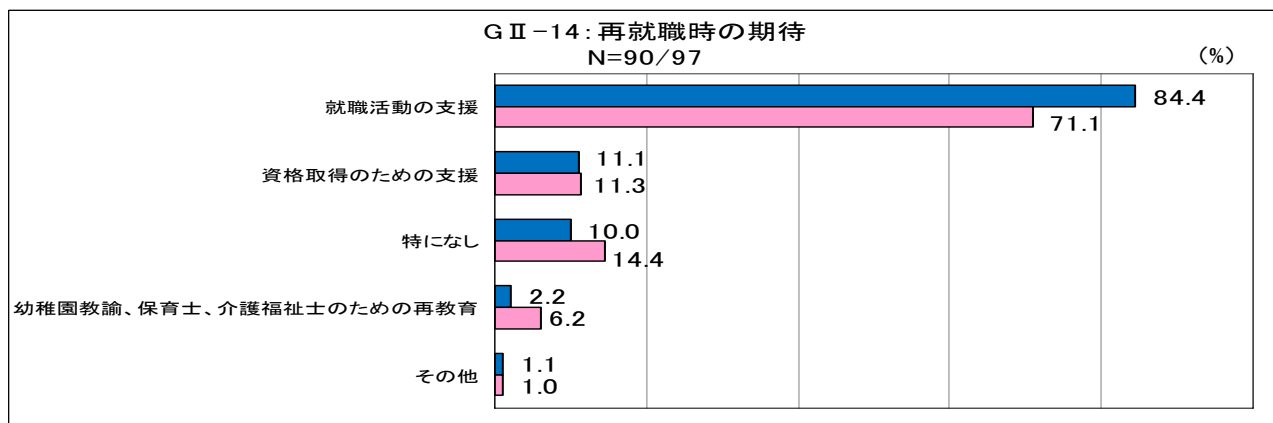
とても満足しているとまあまあ満足していると、64.9% (60.9%) の卒業生が満足している傾向にあるものの、32.2% (37.1%) が何らかの不満を抱きながらも継続して勤務している（参照：GII-13）。



昨年度より満足度が高くなっていることは、学生のキャリア支援のあり方を検討してきた成果の一つであると考えられる。

(7) 再就職時に高田短期大学に期待することについて

就職活動の支援が84.4% (71.1%) と最も多く、転退職時における再就職支援に期待していることがわかる。昨年度より、本学のホームページで中途採用求人情報を掲載するようになり、年間で卒業生のキャリア相談件数（昨年度21名）が本年度もほぼ同様な件数になっている（参照：GII-14）。



(8) 勤務に満足している理由について（具体的記述）

- ・毎日とても充実しており、先輩方に色々と教えて頂けるから。毎日が勉強で、1日1日新しい発見の連続だから。
- ・職員の間関係がすごくいい。
- ・職場の雰囲気が良く、園の方針（園長の考え）に信念がある。基本的に残業がない。
- ・少人数の保育でゆったりと子どもと接することができ、又、職員同士の連携が十分取れている。
- ・職場環境に恵まれていると感じる。また、通勤距離。

- ・いい先生方に恵まれている。
- ・仕事の内容も、人間関係も充実し、楽しく勤務しています。
- ・社内の雰囲気がとても良く仕事を行いやすい。福利厚生も充実している。
- ・安定している事。素敵な園長先生、主任先生、信頼できる先生がいるので。
- ・園自体の規模が小さいため、保育を行いやすい。
- ・園の子どもの人数がちょうどいい（多すぎない）。
- ・第一希望の公立園に就職できたから。
- ・職場の環境や保育観が自分にあっていると思うため。
- ・人間関係が良い。定時に帰れる。安定している。環境も充実していて満足しています。
- ・やりがいがあり、給料が良いから。
- ・職員、保護者との関係良好でとてもよい環境。保護者に恵まれているから。
- ・人間関係、保護者との信頼関係。臨時だがボーナスがある。
- ・家から近い。やりがいがある。
- ・大変なことは多いが、毎日楽しく充実しているから。
- ・先輩の先生方にたくさん支えられているし、子どもが何よりもかわいく、頑張ろうと思える。
- ・人間関係が良く、忙しいながらも充実し、やりがいを感じるから。
- ・自分の充実した時間を過ごせる環境だから。子どもに囲まれて幸せを感じているから。
- ・園の教育方針も好きだし、人間関係もよく働きやすい。
- ・公立は色々な先生と働けるという事で、色々な保育観を知ることができるから。
- ・待遇も悪くなく、勤務時間中で仕事が終わるから。
- ・思ったとおりの職場だった。
- ・人間関係では色々ありますが、夢が叶ったので満足しています。
- ・定時に帰ることができて残業もないし、ボーナスもそこそこでたから。
- ・なんとなく・・・素敵な子どもたちと出会えたこと。
- ・書類の書き方、人間関係。
- ・家から近く、親身な先輩職員が複数いるので。
- ・今は、たくさんの事を学べ、やりがいがある。
- ・幼稚園教諭として子ども達と関われ満足しているが、仕事や人間関係が大変だから。
- ・仕事を丁寧に教えてもらえる。人間関係。
- ・職場の雰囲気が良く、職員間の仲が良いから。
- ・お給料もたくさん頂いてる。先輩方にもよくしていただいているから。
- ・仕事は大変すぎるが、同期という知り合いが増えたから。
- ・自分の得意なことでがんばれるから。
- ・不自由なく働かせてもらっているから。

- ・休みが取りやすいから。
- ・初めての勤務先であったが、周りの先輩に助けられながらも、自分なりに落ちついて保育することができた。
- ・公立であったので、他園の先生方との関わりも多く、いろんな保育の話を聞くことができた。
- ・職場環境に恵まれているように思う。まだまだわからないことばかりだけれど、所長・主任・先輩保育士に気になっていることを聞くと、アドバイス指導していただき、ありがたく思う。
- ・先輩らが、色々とコツやこうした方が良いと具体的に話してくれたりするから。

(9) 勤務に不満足な理由について（具体的記述）

- ・労働条件、給与。
- ・給与への不満。
- ・利用者に対し、職員不足の為、利用者とはゆっくりと会話もできないし、設備が整っていない。その他施設長に不満あり。
- ・三交代で夜明休でないことがほとんどで、連休がとれない。休暇がほしい。有休が使えない。
- ・ノルマがありすぎてしんどいから。
- ・(早番・遅番等と体制を組んでいるのに毎日夜7時を超える)勤務時間が違反している所。
- ・忙しすぎる。子どもと接しているというより違う仕事の方がはるかに多い。
- ・定時にあがれず、残業代がほぼつかない。書類が多すぎる。
- ・園の方針に疑問がある為。
- ・不満があるとすれば、日給月給の為収入が安定しない。臨時であるが一人担任を任された。
- ・真実を教えてくれない。仕事を押しつけられるから。
- ・研修などで学んだ保育が現場では園の方針に従わなければならないので活かせていない。
- ・保育は楽しいが、先生間の仲が悪い。雰囲気が悪い。
- ・残業が非常に多い。勤務時間が長い。
- ・有休等の休みがない。(週休2日じゃない)。保育環境が悪い。
- ・人間関係に不満あり。
- ・児童施設としての役割をきちんと果たせていない。資格を持った職員がおらず仕事に対する考え方が全く違うのでとてもやりにくい。
- ・休みが不規則なので辛い。給料が少ない。勤務外の書類が多すぎる。仕事が多いので疲れる。
- ・思うような保育ができないから。
- ・勤務時間が長い。児童数が多すぎる。
- ・経営方針、労働時間、人間関係。
- ・担任以外は皆雇用でしか取ってくれないから。正規イコール担任だから。
- ・勤務時間が長い、残業代がない。土日出勤がある。